

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

「100年ライフキャリア見える化ノート」ワークショップ
実施のご提案

グロースサポート社労士事務所
田邊 雅子

① 団体概要

田邊 雅子 (たなべ まさこ)

- 特定社会保険労務士
- 2級キャリア・コンサルティング技能士
- 独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 委嘱
- 公財) 介護労働安定センター 委嘱
- 中央職業能力開発協会 キャリアシフトチェンジ 講師



グローブサポート社労士事務所/株式会社グローブサポート

業務：労務相談、制度設計（就業規則・人事制度）、給与計算、労働保険社会保険手続、社員研修、社員面談、社外相談窓口

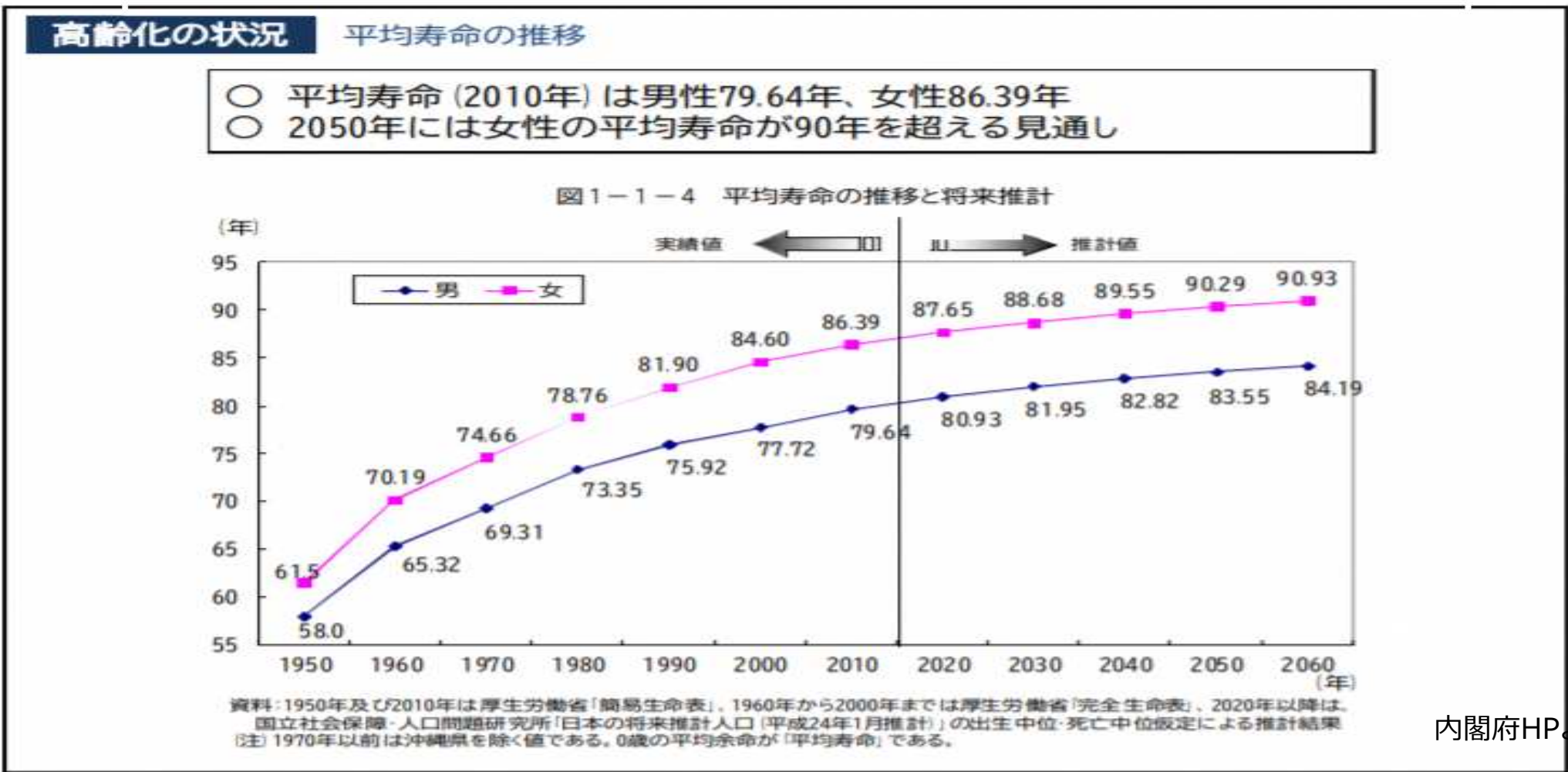
① 団体概要

実績

- 独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構の委嘱アドバイザーとして、中小企業の定年制度設計・高齢社員の人事制度設計のコンサルをしている
- 社員研修や社員面談で、中高年齢者（45歳以）社員のライフキャリア支援をしている
例) 50を過ぎて考える人生100年時代のキャリア設計 等
- 企業領域で活躍するキャリアコンサルタントのFacebookグループ（現在1200人超）を運営・管理している

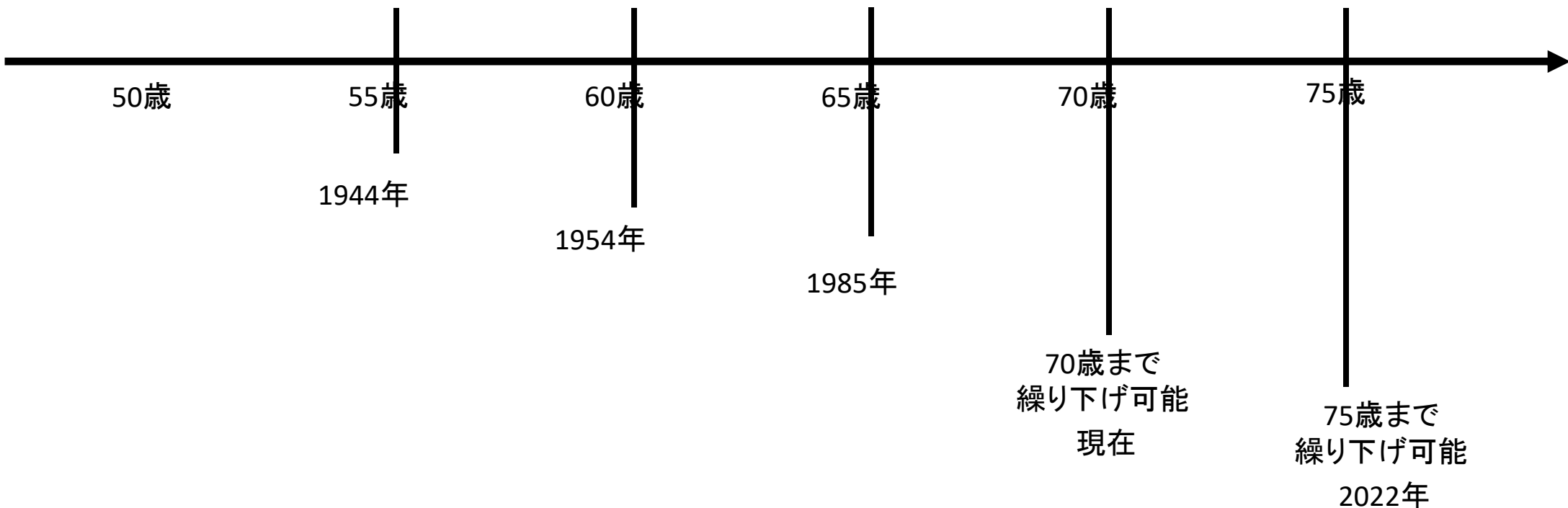
②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

平均寿命が伸びている（1950年約60歳→現在約90歳）



②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

老齢年金受給開始年齢が「逃げ水」のように先送りになる



現役世代の負担を軽減するために、働ける人はみんな現役として働き、
社会保障を受け取る側から支える側に！

②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

50代を後悔している理由トップ12

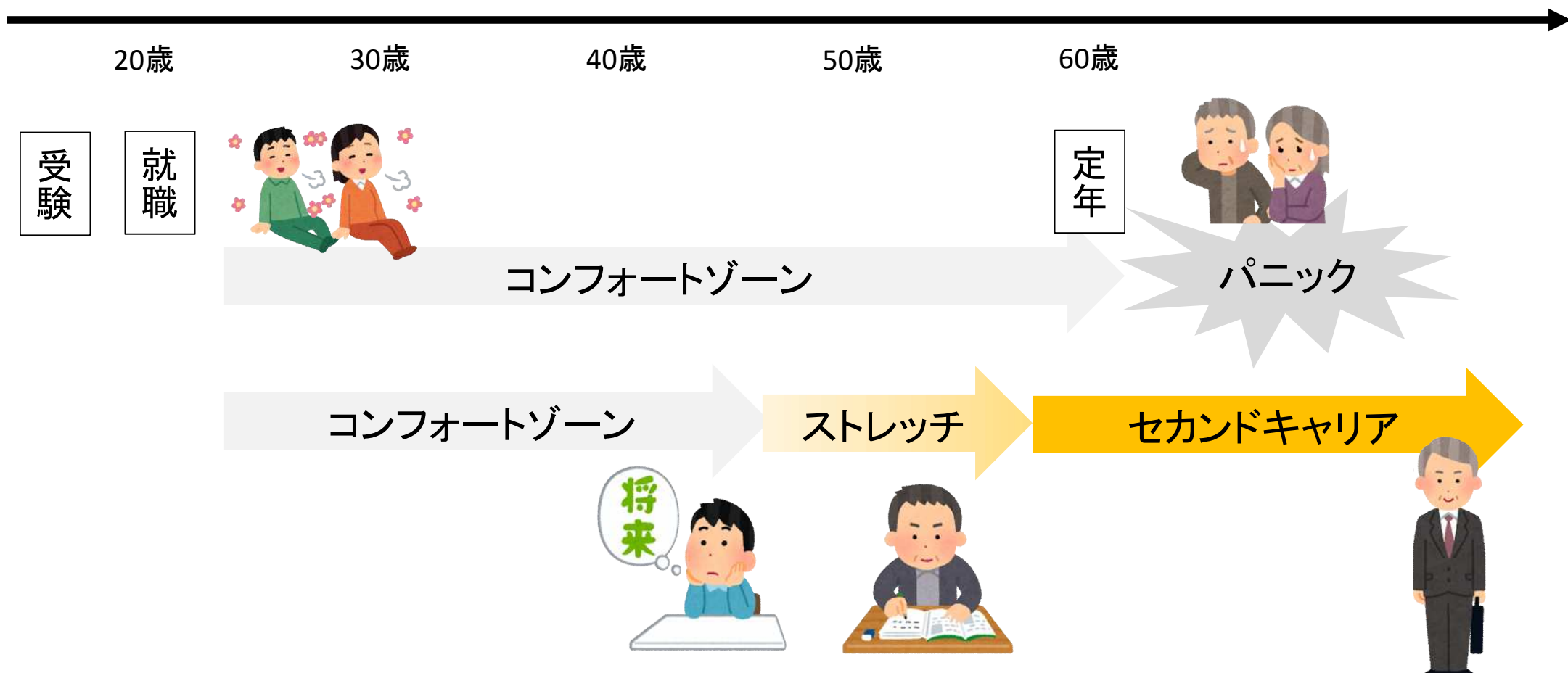
- もっと早く定年後の人生設計をしておくべきだった
- 役職定年や年収減でモチベーションが落ちてしまった
- 組織の名前でないアイデンティティを確立できてなかった
- シニアライフは悠々自適を想定し、働くイメージがなかった
- 働かないオジサン（オバサン）になってしまった
- 思考停止病になっていた
- 退職金・年金があまりに少なくシュンとしてしまった
- 低い条件の定年後再雇用に甘んじてしまった
- 「やりたいこと」と「やりたくないこと」を考えていなかった
- 自分の可能性（セカンドキャリアの選択肢）を過小評価していた
- 年金の相場（一般論）を信じ込んでいた
- 仕事の守備範囲が狭すぎた（つぶしが効かない）

大塚寿

「50代後悔しない働き方」より

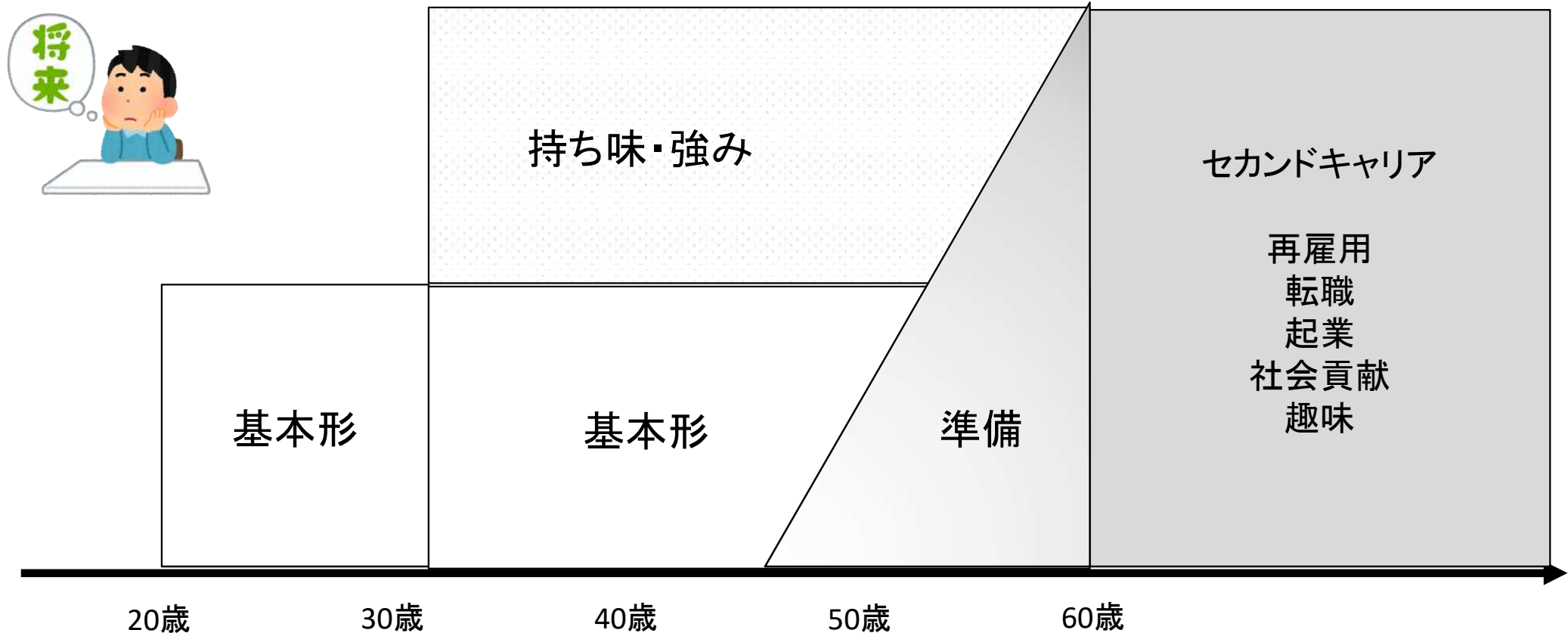
②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

コンフォートゾーンを抜け出して、さらなる活躍の準備をしよう



②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

生き活きと働いているシニアは、
45歳位からセカンドキャリアについて考え準備している



②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

中高年社員を雇用している企業のお悩み

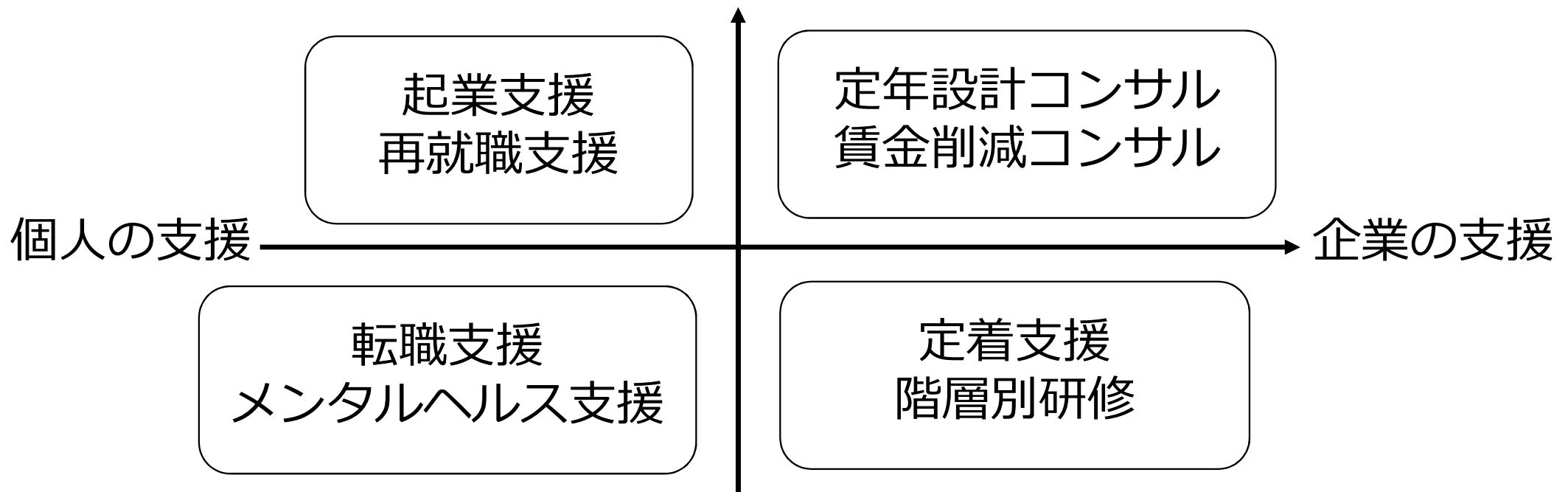
- 正直、組織としては若返りを図っていききたい。
- 役職定年後の方への働きかけ方がわからない。
- 公的給付金をあてにして一律給与を下げているが・・・。
- 70歳まで雇用するとなると人件費が大変だ。
- 何をしてもらったらいいのかわからない。
- 上司が仕事を指示したら、給料減ったからやりませんと言ったらしい。
- 給料を下げて仕事の内容が同じだったら法律違反だそうで心配。
- ウチは雇用していききたいが、客先の担当社員が若いので・・・

企業コンサルでのヒアリングより

②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

よくある企業と中高年社員への支援スタイル（単眼的）

中高年社員（45歳以上）への支援



45歳未満社員への支援

②事業の概要 中高年社員（45歳以上）を取り巻く環境

企業とそこで働く人の両方に資する支援をしたい（複眼的）

中高年社員（45歳以上）への支援



会社が、中高年社員の、
「100年ライフキャリア見える化」の
機会を提供することで、
win-winの入り口にたてないか？

個人の支

業の支援

45歳未満社員への支援

②事業の概要（弊所が開発したツール）

「100年ライフキャリア見える化ノート」の開発

■内容

- ゲーム感覚で楽しみながら、価値観、強み分析、心配事のあぶり出し、マネープランなどが見える化し、今後を考える一歩にできる。
- オンラインなら10名位まで、リアルなら5人程度のグループワークで上限40人程度？

■所用時間

- 1時間×3回 もしくは 2時間半程度

■もともとの料金

対企業 3時間程度で10万円+ノート代1,000円×人数



②事業の概要（弊所が開発したツール）

「100年ライフキャリア見える化ノート」ワークショップで出来ること

■企業は

- 45歳以上社員に、棚卸の機会、会社や市場の状況考えてもらえる。
- 高齢者の定年制度設計・評価制度設計に繋がる。

■45歳以上社員は

- 元々の価値観、職業人生の棚卸、やりたいこと、今後の不安などについて考える機会を持てる。



③連携を期待するリソース

お願い

■ノートを使ったワークショップをさせていただきまする企業様募集！

1社10名様まで（延べ100名様まで）の無料キャンペーンを実施中
（2月末まで）

■オンラインでもリアルでもOK！

■アンケートにお答えいただきます。

④事業の期待する効果

社会課題

- ・ 中高年社員は、今後のライフキャリアに不安を感じている。
- ・ 会社は、法改正の中、中高年社員の処遇に悩んでいる。



「この指とまれプロジェクト」効果

- ・ 神奈川の中小企業が「100年ライフキャリア見える化ノート」を活用することで、中高年社員に楽しみながら、今後を考える機会を提供できる。
- ・ その結果をもって、会社も中高年社員の活用を設計できる。
- ・ 全国の中小企業に普及できる！
(全国1200人のキャリアコンサルタントの仲間がいる)

⑤事業のスケジュール

時期	実施内容
11月	キャンペーン協力企業様決定
12月 ー 2月	「100年ライフキャリア見える化ノート」ワークショップキャンペーンの実施 ・ 原則オンライン ・ 会場実施の場合のコロナ対策 参加者の体調確認、手指消毒等を徹底、換気、
3月	アンケートなどで参加者の感想を集め、ノートの改善と報告

⑥最後に一言

寿命が伸びて人生100歳時代になったことは喜ばしいことですが、一方で、社会保険労務士として企業に向き合う中で、高齢者雇用をする企業の悲鳴も聞こえてきます。景気が低迷している中、人件費総額を増やせないのも悩ましいです。

また、社員の皆さんもお手本の無い時代に不安を抱えています。人生100歳時代、シニアになってもキラキラできるはずもなく、安穩と雇用延長保証されるはずもなく。

でも、せっかくですから伸びた寿命を神様からのギフトととらえて、楽しみながら考え、納得の人生設計が出来るほうがいいと思いませんか？と伝えたいです。

企業とそこで働く人の両方の幸せを（多少しょっぱくても）、一緒に応援していきましょう。